

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日:令和 6年 2月 3日

事業所名:ナインキッズ

サービス種類:児童発達支援・放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	法廷に順守したスペースを確保しています。	はい:30人 どちらともいえない:1人 いいえ:0人 わからない:1人 ・広くて運動しやすい。	スペースを確保するために運動器具は都度出し入れしています。
	2 職員の適切な配置	指定基準に基づいて人員を配置しています。	はい:22人 どちらともいえない:1人 いいえ:0人 わからない:9人 ・適切である。 ・配置数はわからないが、専門性があると思う。 ・活動中の様子を見る機会がないため。 ・スタッフの数がギリギリのように思える。	支援に必要な人員配置の確保できています。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	物の配置を工夫し安全の確保につとめています。落ち着いて過ごせるよう、視界に入るものを減らしています。	はい:30人 どちらともいえない:0人 いいえ:0人 わからない:2人 ・スケジュールが分かりやすく、貼られているため良い。	今後も子どもたちの特性に合わせて環境を整えていきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	子どもが入れ替る度に使用した器具や送迎車を消毒し、営業終了後には清掃を行っております。	はい:29人 どちらともいえない:1人 いいえ:0人 わからない:2人 ・清潔である。 ・部屋が少し汗のにおいがするときがある。	引き続き清掃や消毒・整理整頓を行い、より心地よく過ごせるよう配慮します。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	日々の打ち合わせや、定期的なミーティングを通して情報共有や意見を出し合い支援に繋がっています。		今後も定期的な情報共有・課題検討の場を設け、業務改善に努めます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者評価を受けていません。		検討していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	オンライン研修や外部研修に参加しています。新任職員には新任研修も行っています。		今後も研修の参加機会を確保し職員のスキルアップに努めます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	支援計画を立てる際に保護者様とモニタリングを行い、現状や課題について情報収集・整理・共有をし作成しています。	はい:30人 どちらともいえない:0人 いいえ:0人 わからない:2人 ・しっかりと計画を作成してくれている。 ・しっかりと話し合い、普段の様子を踏まえながら、内容作成をしてもらっている。	今後も継続して適切なアセスメントやモニタリングを行い支援計画の作成をします。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個々のニーズに合わせて個別支援・集団支援について検討し計画を立てています。		今後も継続しながら、子どもたちの状況に合わせた個別活動・集団活動を行っていきます。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個別支援計画には、支援に必要な支援内容を明記しています。		引き続き、継続していきます。
適切な支援の提...	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援会議を通して職員間で計画内容を共有し、支援計画に基づいて日々の支援を検討・実施しています。	はい:31人 どちらともいえない:0人 いいえ:0人 わからない:1人 ・しっかりと計画を作成してくれている。 ・定期的に色々なプログラムがされていると思う。	適切な支援が行えるよう今後も職員間での話し合い・支援についての共通認識を深めていきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	定期的なミーティングにて児童の課題や伸ばしていきたいことを参考にプログラムを考えています。		引き続き、定期的に話し合いながらプログラムの立案・改善を行います。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	現在は、休日や長期休暇でもサービス提供時間は変更せずに療育しております。	はい:29人 どちらともいえない:0人 いいえ:0人 わからない:3人	現状は児童発達支援・放課後等デイサービスの多機能型事業所の為、サービス提供時間が決まっており難しい状況ですが、保護者や利用者のニーズに合わせて、検討していきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	固定化されないように職員で話し合いをしプログラムを考えていますが、繰り返し行う必要のある内容は固定化しています。		今後もプログラムが固定化しないよう工夫を重ねますが、繰り返し必要のあるプログラムは固定して行う場合もあります。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
供 (続 き)	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	当日の利用者・送迎・プログラムの確認を毎日行っております。	引き続き、継続していきます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	その日のうちに記録を取り、職員間で共有しています。	支援の振り返りや気付いた点などの情報共有をしていきます。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	個人記録に支援内容や様子について記録しています。	記録をもとに検証・改善の実施に努めます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的モニタリングを行い、課題の分析や計画の見直しを行っています。	引き続き、継続していきます。
関 係 機	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	サービス担当者会議が開催される時には参加しています。	サービス担当者会議が開催される時には参加します。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
機 関 と の 連 携	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	移行先の事業所から支援内容等について情報提供を求められた際には、利用児の様子は支援状況をお伝えしています。	今後も必要に応じて行っていきます。	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関からの案内があった場合には、適宜参加しています。	積極的に研修への参加を推進していきます。	
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在は実施できていません。	はい:5人 どちらともいえない:4人 いいえ:4人 わからない:19人 ・障害のない子どもと活動したことを聞いたことがないため。 ・時間的、物理的に難しいと思う。	必要に応じて、交流機会の確保について検討していきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現在は実施できていません。		地域との交流について、事業所としてできることについて考えていきます。
	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	ご契約時に重要事項説明書を読みながら支援内容や利用者負担について説明しています。	はい:30人 どちらともいえない:1人 いいえ:0人 わからない:1人 ・説明されている。	支援内容や利用者負担について丁寧に説明していきます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	最低半年に一度支援計画の見直しを行い、保護者の方へ説明をし承認をいただいています。	はい:31人 どちらともいえない:0人 いいえ:0人 わからない:1人 ・説明されている。	引き続き、継続していきます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現在ペアレントトレーニングは実施できていませんが、個別の相談があった際にはできる限りの対応をしています。	はい:13人 どちらともいえない:6人 いいえ:2人 わからない:11人 ・説明されている。 ・送迎時に質問をすることができるため。 ・モニタリング等、お話をするときにアドバイスいただいている。	実施について検討していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳や送迎時にご様子をお伝えしたり、情報共有をしています。	はい:30人 どちらともいえない:1人 いいえ:0人 わからない:1人 ・毎回フィードバックをしている。 ・毎回帰りに活動と様子を教えてもらっている。	活動内容の伝え方を話し合い、改善していきます。日頃のご様子をわかりやすくお伝えするようにしていきます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	相談があった際には、寄り添い解決に向けた方法を一緒に考えています。	はい:25人 どちらともいえない:3人 いいえ:3人 わからない:1人 ・行われている。 ・いつもありがたいです。	今後もお悩みを相談しやすい関係づくりに努め、寄り添いながら問題解決に向けて取り組んでいきます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	実施できていません。	はい:2人 どちらともいえない:3人 いいえ:13人 わからない:14人 ・他の保護者との交流がないため。 ・今後も特になくてもいい。	保護者会の開催に関しては検討していきます。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情があれば、原因や改善点について職員間で話し合い、対応をしています。	はい:22人 どちらともいえない:1人 いいえ:0人 わからない:9人	苦情があった際には迅速で丁寧な対応を行えるよう体制を整えます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	保護者よりご家庭での配慮方法をお聞きし、利用者が戸惑わないよう話やすい環境を整え、個に応じた方法で意思疎通しています。	はい:28人 どちらともいえない:2人 いいえ:0人 わからない:2人 ・できています。 ・連絡帳やLINEでしっかり行えていると思う。 ・定期的な面談の延期等イレギュラーなことがあれば事前に通知するなど伝達してほしい。	引き続き継続し、意思疎通のための様々な方法を考えていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	SNSの更新・送迎時に活動内容や様子についてお伝えしています。	はい:24人 どちらともいえない:1人 いいえ:0人 わからない:7人 ・SNSの発信等で運動療育のプログラム内容を発信してほしいと思う。 ・運動療育とはどのような内容か聞かれることがある。 ・インスタ投稿をみている。	SNSについては、運動面・机上面ともバランスよく更新していき、伝わりやすい内容と文章にしています。 送迎時に活動内容や様子を伝える際にもわかりやすい様に説明をしています。	
10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に個人情報の取り扱いについて説明し、同意書を書いていただいています。	はい:26人 どちらともいえない:0人 いいえ:0人 わからない:6人 ・注意されている。	個人情報の取り扱いは慎重に行っています。	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルを作成しています。	はい:24人 どちらともいえない:1人 いいえ:0人 わからない:7人 ・説明をされている。	保護者への発信・周知徹底の方法について検討していきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	災害を想定した避難訓練や防災訓練を行っています。	はい:29人 どちらともいえない:0人 いいえ:0人 わからない:3人 ・避難訓練をしている。 ・定期的に行われている。	引き続き災害や防災についての意識向上を図り、訓練を実施していきます。
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	虐待防止マニュアルを作成しています。新任職員には新任研修と同時に行っています。		外部の研修があった際には参加していき、虐待防止意識の向上を図っていきます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	当事業所では身体拘束はしていません。		パニック時に、別の部屋へ誘導することはあり得ますが、別の部屋に入る場合は職員2人で対応をし、ドアを開けて、今後も身体拘束はせずに療育を行っていく方針です。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	フェイスシートにてアレルギーの有無を確認しています。		放デイではおやつを提供があることを保護者へ説明しています。フェイスシートアレルギーの有無を確認、リスト化し、職員内で把握できるようしていきます。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットがあった場合には報告書の作成、共有をおこなっております。		ヒヤリハットからの気付きで、事故を未然に防ぐために、情報提供や分析に努めるようにし、ミーティングの場で話し合うようにしております。